



## 今後のまちづくりに向け意見交換 ～ヴァー・ホン・ナム閣下来訪～

10月18日、駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使が市役所を訪問しました。姉妹都市締結や観光、インバウンドなど活発な意見交換が行われました。市長から「このご縁を大切に、これからのまちづくりに生かしていきたい」と伝え、閣下から「那須塩原市は特に農業のポテンシャルが高い。人材・産業から、那須塩原市とベトナム国の交流を深めていきたい」と温かいお言葉をいただきました。



## 爽やかな秋晴れの中 たすきをつなぐ ～市駅伝競走大会～

強い日差しが暑いと感じるくらいの快晴に恵まれた10月5日。今年で15回目を迎える市駅伝競走大会が那須野が原公園で開催されました。一般が29、高校が8、中学校が25チーム参加し、13歳から79歳まで総勢600人が力走しました。起伏に富んだコースに苦しみながらも、チームのたすきを何とかつなごうと懸命にゴールを目指す選手たち。完走した参加者たちは、達成感に満ちあふれていました。



## 大盛況！ 異国の文化を存分に堪能 ～オーストリア・フェスタ～

10月6日、日本オーストリア友好150周年を記念してオーストリア・フェスタがまちなか交流センターくるで開催されました。民族衣装体験やさまざまなイベントが行われたほか、おいしいオーストリア料理には長蛇の列が。日本文化の良さも再認識しつつ異国の文化を全身で感じた来場者の顔には、自然と笑顔が浮かんでいました。黒磯駅前でもったいない市も同時開催され、多くの人でにぎわいました。



1 オーストリアから青木周蔵の子孫・サルム伯爵も駆け付けた 2 民族衣装に身を包んでニコリ 3 那須拓陽高校生とお菓子屋さんのコラボ開発菓子「リンク」が大人気 4 日本文化の良さも再認識 5 もったいない市も大盛況



## 秋の祭りを楽しみ、味わおう ～西那須野産業文化祭・畜産フェア～

10月19・20日にかけて、にしなすの運動公園を中心とした特設会場で開催された西那須野産業文化祭。文化や芸術、福祉など多数のブースが出展し、多くの人でにぎわいました。

20日には畜産フェアも同時開催され、肉やチーズ、ミルクといった那須地区を代表する畜産物の逸品を求めて長蛇の列ができました。会場では、美味しそうなお肉やピザなどを頬張る姿が見られ、大盛況のうちに幕を閉じました。



## 本物の文化芸術に触れよう ～文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」～

箒根中学校で行われた文化庁による子供育成総合事業。この事業は質の高い文化芸術に触れる機会を与えることで、子どもたちの豊かな創造(想像)力や思考力などを養うために行われています。10月10日の公演では、オペラ団体「二期会合唱団」が同中生徒や学区内の小学生など約200人を前に、混成合唱やオペラ「カルメン」の一部を披露しました。同中3年の高橋空音さんは「お芝居が好きなので、歌だけではなくところが面白かった」と話してくれました。



## 大地の恵みへの感謝と繁栄を祈る ～塩原温泉 古式湯まつり～

9月29日、湧き出る温泉の恵みに感謝する古式湯まつりが塩原地区で開催されました。江戸時代の山津波で湧出が途絶えてしまった温泉の復興を願い祈りを捧げたことで、再び湧出したという故事に習い、温泉の末永い繁栄を願って毎年行われているもの。塩原温泉発祥の元湯でくんだ「御神湯」を町内に分ける分湯式や古式ゆかしい衣装に身を包んだ分湯行列のほか、塩原小中学校の生徒などによる巫女舞が披露され、観光客を魅了しました。



## 重なる歌声、響くハーモニー ～中学校合唱フェスティバル～

9月16日、黒磯文化会館の大ホールで市内の中学校9校の合唱部が一堂に会し開催された「第6回市中学校合唱フェスティバル」。各校の演奏のほか、昨年に引き続き今年も行われた出演者全員による全体合唱では2曲が演奏され、日ごろの練習の成果を存分に発揮していました。フィナーレは実行委員長の玉野三島中学校長の指揮で、360人の生徒がひとつになり「大地讃頌」をホールいっぱいに響き渡らせ、多くの観衆を魅了しました。